

一般社団法人 福井県臨床検査技師会

平成 22 年度定期総会議事録

日 時：平成 23 年 4 月 21 日（木） 18：40～20：15

場 所：福井県済生会病院 東館 3 階 カンファレンス⑧

*議事に先立ち、3 月 11 日に発生した東日本大震災で犠牲になられた方々のご冥福をお祈りして、出席者全員が黙祷を捧げた。

あいさつ：伊藤代表理事より

昨年は、日臨技の新法人化に向けた動きの中で、会費納入の手続きなどで混乱が生じた。これは日臨技からの情報が一括されていなかったため、福臨技では会員への周知を随時行ってきた。また、11 月に会員動向調査を実施したほか、臨床検査技師責任賠償保険を保険会社と契約し、本年 1 月から福臨技のみの会員に提供している。さらに、税制上の優遇措置を受けられる非営利一般社団法人に変更したことにより、会計処理の簡略や法人市・県民税が減免されることになった。

一方、日臨技定期総会の委任状の取り扱いや定款、諸規定などに疑義があったことから、近臨技では修正を求めることになった。問題の解決には程遠い感があるが、粘り強く提言や交渉を行っていく予定である。また、近臨技ではあり方検討会を継続的に開催し、今後に向けた基盤づくりを行っている。その目的は、会員の連携とスキルアップを図ることであり、会員各位のご理解とご協力をお願いしたい。

このように多くの課題はあるが、会員並びに地域社会にとって有意義な技師会活動を行っていきたい。

議事内容：

1. 議長選出

執行部一任により、水野幸恵さん(福井県立病院 検査室)が選出された。

2. 議事録署名人選出

議長一任により、鳥居国雄さん(福井大学医学部附属病院 検査部)、加藤亜希さん(福井厚生病院検査課)が選出された。

3. 資格審査委員選出

議長一任により、川端直樹さん(市立敦賀病院 検査室)が選出された。

4. 資格審査報告

資格審査委員より、会員数 365 名に対して出席者 23 名、委任状提出者 250 名、合計 273 名となり、定款第 28 条に従い今総会が成立するとの報告があった。

5. 議案審議

第 1 号議案：平成 22 年度事業報告

庶務部長に代わり伊藤代表理事より事業報告の概要が説明された。さらに、社会(地域)参加事業である糖尿病・エイズ予防啓発事業について、それぞれ山本副会長、谷口副会長より報告された。

学術部門では、加藤学術部長より研修会開催数は部門・分野が 21 回、チーム医療が 10 回、部門・分野とチーム医療合同が 5 回の合計 36 回開催され、参加人数は述べ 893 名であったことが報告された。

臨床検査精度管理事業では、井村委員長より北陸 3 県合同ガス分析コントロールサーベイを昨年 7 月に、平成 22 年度福臨技コントロールサーベイを 8～9 月に実施し精度管理調査報告書を本年 3 月に発行したこと、日臨技精度保証認証施設に福井大学医学部附属病院・福井赤十字病院・市立敦賀病院の 3 基幹施設が認証されたことが報告された。

広報部では、羽田広報部長より会報誌は発行したが会誌は発行できなかったこと、親睦会が学術行事と重なり中止になったことが報告された。

質疑応答は無く、第 1 号議案の議決が拍手をもって行われ、賛成多数で承認された。

第 2 号議案：平成 22 年度決算

津田会計部長より平成 22 年度決算(案)が説明され、預金取り崩し 200,000 円の予定に

対し 152,866 円に減り預金残高が 9,134,388 円であるが、預金残高には平成 23 年度会費収入が含まれていることが説明された。また、伊藤代表理事より非営利型一般社団法人に変更すべく定款の変更手続きを行って約 64 万円を納税したが、今後は毎年の決算や学会時における免税と会計事務の大幅な簡素化が図られるなどメリットが大きいことから了解をいただきたいとの説明があった。

続いて、湊監事(監査委員)より会計監査報告があり、問題なく会計処理が行われていることが報告された。質疑応答は無く、挙手による議決が行われた結果、全会一致で第 2 号議案が承認された。

第 3 号議案：平成 23 年度事業計画

伊藤代表理事より県学会、臨床検査精度管理事業、エイズ・糖尿病予防啓発事業は継続していくが、日臨技、関西支部及び近臨技の方針や関係が不透明であること、委託金・助成金も明確でないなど不明な点が多いので、それらを考慮して当面の事業計画を立てたことが説明された。

〈質疑応答〉川上 優さん(福井県済生会病院 検査部)より近臨技以外の地区技師会の動きに関する質問があった。伊藤代表理事より全国地区技師会の中では近臨技の活動が活発だと思われるが、今後は他の地区でも協議会の発足が予想されるとの回答があった。

杉本英弘さん(福井大学医学部附属病院 検査部)より関西支部の役割と、今後近臨技や各府県で開催される研修会の参加(受講)資格に関する質問があった。伊藤代表理事より日臨技の出先機関であり、日臨技から任命された支部長と各府県から 1 名ずつの幹事により構成されること、現在近臨技あり方検討会で各府県会員が同額の参加費で研修会などに参加できるように協議しているとの回答があった。

藤島智美さん(福井循環器病院 臨床検査科)より福井県担当の地区学会に関する質問があった。伊藤代表理事より 2 年後に福井県で開催される予定であるが、日本臨床検査医学会近畿支部・日本衛生検査所協会近畿支部との同時開催の件などが未定であるとの回答があった。

続いて、挙手による議決が行われた結果、全会一致で第 3 号議案が承認された。

第 4 号議案：平成 23 年度予算

津田会計部長より平成 23 年度予算(案)が説明された。質疑応答は無く、挙手による議決が行われた結果、全会一致で第 4 号議案が承認された。

第 5 号議案：その他

伊藤代表理事より臨床検査技師責任賠償保険に現在 14 名が加入しているが、これからも加入を勧めていくこと、今後は各施設への配布文書を減らして経費と労力を削減する目的で、ホームページ利用に関するアンケート調査を実施する予定があることが説明された。

また、新近臨技に移行する際、現在の余剰金は一旦各府県技師会に分配した形にして新近臨技に拠出したいとの説明があり、全会一致で了承された。

〈質疑応答〉藤島智美さんより福臨技のみに所属する会員の番号に関する質問があり、伊藤代表理事より既に会員証が出来ていること、会員番号は施設名の 50 音順に[18-9001]から付番するとの回答があった。

加藤亜希さん(福井厚生病院 検査課)より研修会参加費の徴収が決算の収入に記載されていない理由や収支について質問があった。加藤学術部長より参加費は実習の器具・試薬代、あるいは近臨技以外から講師を招聘する場合に徴収しているが、学術部内で収支処理を行ったことが説明された。

最後に、伊藤代表理事より東日本大震災の義援金として会員一人当たり 100 円を予備費から支出し、本総会・県医学検査学会においても募金させていただきたいとのお願いがあった。

以上、第 1 号議案から第 4 号議案まで予定されていた議案の説明及び議決が行われ、第 5 号議案でも新近臨技への移行時における拠出金の承認及び質疑応答が行われ、平成 22 年度定期総会が滞りなく終了した。

議事録署名人：鳥居 国雄 ㊞、加藤 亜希 ㊞
(文責：谷口晴信)